



187017/18_0017

リビングテクノロジー株式会社 殿

試 験 報 告 書

クローラ水によるウイルス不活化評価試験

北環発 18_0017 号

平成 18 年 7 月 31 日

神奈川県相模原市北里 1 丁目 15 番 1 号

財団法人 北里環境科学センター

理事長 田 中 晴 雄

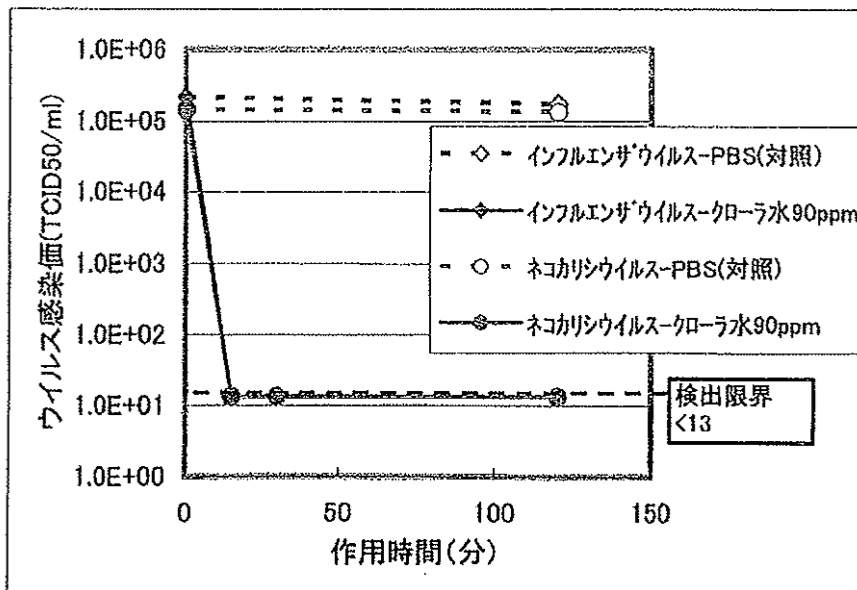
試験内容を公表する場合は、事前に当センターの承諾が必要です。
また、本報告書記載の試験結果は供試品に対するものであり
荷口（ロット）全体の品質を証明するものではありません。

表・1. 試験品の作用時間に対する各ウイルス感染価

試料名	作用時間(分)			
	0	15	30	120
インフルエンザウイルス-PBS(対照)	2.1E+05	/	/	1.7E+05
インフルエンザウイルス-クロラ水 90ppm	2.1E+05	< 13	< 13	< 13
ネコカリシウイルス-PBS(対照)	1.4E+05	/	/	1.3E+05
ネコカリシウイルス-クロラ水90ppm	1.4E+05	< 13	< 13	< 13

単位: TCID₅₀/ml

※ 検出限界: <13



図・1 試験品の作用時間に対する各ウイルス感染価